

広報えたじまへの連載記事について

1 概要

江田島市地域公共交通網形成計画に計上した事業のうち、地域との協働による公共交通の確保・維持・改善を目標として、広報紙を活用した公共交通の利用促進策を実施した。

目標5 地域で公共交通を支えるための意識の醸成

事業① 公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催

■事業の概要

自らが守り・育てる意識の醸成を図ります。

- ・公共交通の現状や課題に関する情報提供
- ・各種行事や広報などを活用した公共交通の利用促進
- ・地域で公共交通を支えていくための仕組みづくりの検討
- ・利用者と交通事業者、行政などの関係者による意見交換会の開催
- ・公共交通の利用促進イベント等の共同実施（再掲）

2 内容

- ・広報えたじま4月号より記事を掲載開始。3月号までの計4回、毎回半ページの記事を掲載した。
- ・平成29年度の8回の記事で、基本的な情報と問題提起などを掲載しており、令和2年度は、おれんじ号の利用促進や江田島バス(株)の24時間パス等の記事を掲載した。

3 今後の取組みについて

- ・令和3年度も引続き連載記事を掲載する。
- ・その他の施策についても、継続して実施する。

① 令和2年4月号

Google マップで路線検索ができるようになりました!

江田島市公共交通協議会では、平成29年度からバスロケーションシステムとデジタルサイネージを導入し、市内路線バスなどの利便性向上を図っています。そして今回、Google マップの経路検索に市内のバス情報が表示されるようになりました。これにより、バスと船の乗り継ぎをきむ目的地までの所要時間や運賃、運行ルートなどを確認できます。

検索方法

① Google マップを開き、ルートをクリック。



② 公共交通機関をクリック。



③ 出発地と目的地を入力。(地図上でクリックも可)



④ 出発時刻を設定。

日時	出発	到着	所要
3月11日 日	7	13	6
3月2日 月	6	14	8
今日	7	15	8
3月4日 水	8	16	8

⑤ 時刻・運賃・ルートが表示されます。詳細をクリックすると詳しい情報が表示されます。



もっと知りたい！
「フキ」のバス

vol.17

問 企画振興課
☎ (43) 1630

② 令和2年7月号



▲バスの乗車体験

市公共交通協議会では、地域との協働による公共交通の確保・維持・改善を目標として、公共交通の利用促進イベントを実施しています。小学生には、学校単位でバスの乗り方教室が実施されていますが、65歳以上の高齢者の死亡事故も増えているため、去年は大柿町自治会を対象に、バス利用促進イベントを実施しました。



▲機器での適正診断

イベントでは、独立行政法人自動車事故対策機構の機器での適正診断。今後、公共交通への関心が高まるイベントをさせていただきます。

参加者からは、「適正診断で、動体視力が落ちていたことを数字で認識できた」「実際に乗ってみてバスの運転席からの死角の広さに驚いた」「できるだけバスや船の利用を心掛けたい」といった声が上がりました。

もっと知りたい！
「フキ」のバス

vol.18

問 企画振興課
☎ (43) 1630

③ 令和2年12月号

おれんじ号と江田島北部朝夕便は、公共交通を利用できない交通空白地域での移動を確保するため、導入されました。

おれんじ号は、予約制で、日中の時間帯に江田島町北部と沖美町全域を運行しています。

江田島北部朝夕便は、毎日、朝夕方の時間帯に江田島町北部を運行しています。【予約不要 毎日運行】年末年始を除く。

おれんじ号と江田島北部朝夕便（以下「おれんじ号」）を含めた全体の利用者数（令和元年度実績）は、9千人以上と増加傾向にあります。江田島北部線（朝夕便も含む）の利用者は、伸び悩んでいます。

当然、利用者が少なくなれば、公共交通を維持することは難しくなります。

普段の移動は、自家用車という方が多いと思いますが、おれんじ号、通院や買物以外にも、農作業をするための移動や飲食店までの移動の際



▲おれんじ号



公共交通マップ (PDF)

にも利用できます。

もちろん、新型コロナウイルス感染症対策も徹底しており、定期的な車内換気・車内消毒、運転手のマスク着用などの対策を行っていますので、おれんじ号を利用し、みんなが公共交通を守りませんか。

予約方法や運行時間・運行区域などの詳しい情報は、江田島市公共交通マップをご覧ください。

もっと知りたい！
「おれんじ号」
「江田島24時間バス」
「江田島北部朝夕便」

vol.19

問 企画振興課
☎ (43) 1630

④ 令和3年3月号

江田島バス(株)では、昨年11月から江田島バスの全路線が24時間乗り放題になるデジタルチケット「江田島24時間バス」(モビリー)の販売を開始しています。24時間の範囲内で利用すれば、1泊2日の利用も可能となります。

インターネットでチケットが購入でき、乗務員にスマートフォンでチケットを見せるだけで乗り降りできます。

販売額は、大人800円(小児400円)で、販売方法など詳しくは、江田島バス(株)ホームページをご覧ください。

また、江田島バス(株)ホームページでは、バスの利用促進を図るために、「江田島24時間バス」を利用した観光コースを掲載していますので、ぜひ、この機会に路線バスに乗って、島時間を満喫してみませんか。

なお、江田島バス(株)では、新型コロナウイルス感染症対策として、運転手のマスクの着用、定期的な車両

全路線 24時間 乗り放題

MOBIRY

周遊に便利でお得な
デジタルチケットサービス
「モビリー」

江田島バス(株)



江田島を楽しむ
モデルコース



の消毒と車内の換気、バス運転席に飛沫感染防止シートを設置するなど対策を行っています。乗る際はマスクの着用にご協力ください。

もっと知りたい！
「江田島24時間バス」
「江田島北部朝夕便」
「江田島24時間バス」
「江田島24時間バス」

vol.20

問 企画振興課
☎ (43) 1630